

中南米、アフリカ、東南アジアなどで

「ジカウイルス感染症」

が流行しています！



流行地域からの帰国者で心配な方は、検疫官に申し出てください

流行地域に渡航された方へ（帰国後の注意事項）



- 蚊に刺されたというだけで過度に心配する必要はありませんが、心配なことや発熱等の症状のある方は、検疫所にご相談ください。
- 国内でのウイルス拡散防止のため、帰国後少なくとも2週間程度は、忌避剤（虫除けスプレー等）を使用するなどして蚊に刺されないようにしてください。

- 流行地域から帰国した男女は、性行為感染等のリスクを考慮し、症状の有無にかかわらず、最低6か月（パートナーが妊婦の場合は妊娠期間中）性行為の際にコンドームを使用するか性行為を控えてください。
- 心配なことや発熱等の症状が出た方は、最寄りの保健所等にご相談ください。

帰国時の注意事項など詳しくは →

検疫所ホームページ FORTH
<http://www.forth.go.jp>

FORTH ジカ



ジカウイルス感染症

【症状】

主として軽度の発熱、発疹、結膜炎、関節痛、筋肉痛、倦怠感、頭痛など

【感染経路】

ジカウイルスを持った蚊がヒトを吸血することで感染します。輸血や性行為によって感染する場合があります。感染しても全員が発症するわけではなく、症状がないか、症状が軽いため気付かないこともあります。

【流行地域】

○中南米

アンギラ、アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ボリビア、ボネール、ブラジル、英領バージン諸島、ケイマン諸島、コロンビア、プエルトリコ、コスタリカ、キューバ、キュラソー島、ドミニカ国、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、仏領ギアナ、グレナダ、グアドループ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、マルティニーク、メキシコ、モントセラト、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ペルー、サバ島、セントルシア、セント・マーティン島（仏領サン・マルタン及び蘭領シント・マールテン）、セントビンセント及びグレナディーン諸島、シント・ユースタティウス島、セントクリストファー・ネーヴィス、スリナム、トリニダード・トバゴ、タークス・カイコス諸島、米領バージン諸島、ベネズエラ

○大洋州

フィジー、マーシャル諸島、ミクロネシア連邦、パラオ、パプアニューギニア、サモア、ソロモン諸島、トンガ

○アフリカ

アンゴラ、ブルキナファソ、ブルンジ、カーボベルデ、カメルーン、中央アフリカ、コートジボワール、ガボン、ギニアビサウ、ナイジェリア、セネガル、ウガンダ

○アジア

バングラデシュ、インド、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

○北米

米国



（平成29年5月26日現在）